

## II. 彩都スポーツ医科学研究所

#### <学部生の卒業研究指導>

平成 27 年度も学部生の卒業研究として、動作解析をテーマに境ゼミと佐藤（睦）ゼミが彩都スポーツ医科学研究所を使用して、データ収集・解析を行った。境ゼミは投球障害に対して行うスローイングメニュー数種類の体軸内回旋に着目、佐藤（睦）ゼミは ACL 損傷予防を目的にステップ動作に着目した。成果は、ゼミ生の長期実習終了後に発表される予定である。

#### <大学院生の修士論文指導>

平成 26 年度に入学した大学院生（境研究室）のデータ解析を実施し、修士論文として完成した。テーマは「投球時の膝割れに対する新しい評価方法の考案」で、ハイスピードデジタルカメラを用いた動作解析が、赤外線式三次元動作解析装置に劣ることなく、投球動作を評価することが証明できた。本成果は、次年度の第 4 回日本野球科学研究会大会にて発表予定である。

#### <大阪大学との共同研究>

開所時より継続している大阪大学松尾知之研究室との共同研究「下半身の安定性は、投球時のコントロールに影響するか」を平成 27 年度も実施した。

#### <企業からの効果検証受託>

日本シグマックス株式会社より、野球肘予防用スリーブの開発に関する共同研究を締結し、彩都スポーツ医科学研究所内にて検証を開始した。途中経過報告を平成 28 年 3 月 24 日に報告し、次年度も継続予定である。

#### <朝日放送からの協力依頼受託>

朝日放送より、東京オリンピックに向けてのスポーツ番組“東京タイマー2020 朝原宣治・松井千士同大ラガーマン夢のリオヘ”（平成 28 年 2 月 7 日放送）で使用する松井選手の動作解析の依頼があり、中村所長、佐藤准教授、境で対応した。

以上